

【平成19年度 行事等実績】

厚生労働省	平成19年7月4日	献血運動推進全国大会	福井県	国民	献血運動を全国的な国民運動としてさらに盛り上げるために開催。 (昭和天皇記念献血推進賞、昭和天皇記念学術賞授与及び日本赤十字社有功賞授与(皇太子殿下)、厚生労働大臣表彰状及び感謝状贈呈(厚生労働大臣)、福井県知事感謝状贈呈(福井県知事))	日本赤十字社共催
	平成19年7月	愛の血液助け合い運動		国民	愛の血液助け合い運動月間の一環として、都道府県等(約36,000枚)へのポスターの配布。	日本赤十字社共催
	平成19年11月～20年3月	献血普及啓発広告の雑誌掲載		10代～20代の若年層	「週刊少年ジャンプ」、「テレビジョン」、「non no」、「smart」の雑誌媒体への広告掲載。	
	平成20年1月1日～2月29日	「はたちの献血」キャンペーン		国民	献血者が減少しがちな冬期において安全な血液製剤を安定的に確保するため、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く国民各層に献血に関する理解と協力を求める運動の一環として、都道府県等(約37,300枚)へのポスターの配布。	日本赤十字社共催
	平成20年2月11日	献血推進の街頭キャンペーン	東京・お台場	国民(特に若年層)	献血量が少なくなる春の時期にあわせ、若年層を中心とした国民の献血に対する意識の高揚と献血参加促進を図る目的で行う。 会場をけんけつちゃんパークに見立て、けんけつちゃん親子塗り絵コーナーや、けんけつちゃんとの記念撮影コーナーほか、「けんけつちゃん絵描き歌」の初披露やけんけつ体操、特別ゲストとして俳優の永井大さんをお招きしてのトークショーなど多様なステージを展開。	
	平成20年3月	中学生用 血液及び献血についての正しい知識の普及啓発資料(ポスター)制作		中学生	中学生に対し、血液及び献血についての正しい知識の普及啓発を図れるようなポスターを中学校(約34,000枚)及び都道府県等(約2,000枚)へ配布。	
	平成20年2月	献血普及アニメーション(DVD)制作(高校生向け)		高校生	近年、少子高齢化に伴い献血可能人口が減少する中、特に若年層献血者の減少が著しいことから将来の血液製剤の安定供給の確保を図ること目的とした、献血普及アニメーション(高校生向け)を制作し、全国の高校(約6,100枚)及び各都道府県業務主管課等(約200枚)に配布。	
	平成20年2月	献血についての副読本(HOP STEP JUMP(高校生用・教員用))制作		高校生	近年、少子高齢化に伴い献血可能人口が減少する中、特に若年層献血者の減少が著しいことから将来の血液製剤の安定供給の確保を図ること目的とした、献血に関する副読本(高校生用・教員用)を制作し、全国の高校生(約1,158,000部)及び教員(約123,000部)等に配布。	

【北海道】

北海道	H19.11.1~30	ティーンズドナー献血推進キャンペーン	道内一円	10歳代から20歳代の道民	近年、10歳代から20歳代の献血者が減少傾向にあることから、これらの年齢層に対する普及啓発を強化するため、血液センターと共催で若者を対象とした事業を実施した。	血液センター共催 ラジオコマーシャルの制作・放送: 20秒×50本 人気ラジオ番組とのタイアップ ポスターの作成: 1,000枚
	H19.7.23~25	愛の血液助け合い運動パネル展	道庁1階道政広報コーナー	地域住民	愛の血液助け合い運動月間の一環として「献血パネル展」を開催した。	血液センター共催
	H20.1.15~16	はたちの献血ポスター展	道庁1階道政広報コーナー	地域住民	はたちの献血キャンペーンの一環としてポスター展を開催した。	血液センター共催
	H19.10.1~5	献血推進タウン啓発	稚内市内	地域住民	北海道旭川赤十字血液センターの移動献血車を市内に巡回させ、稚内市立図書館において献血に関するパネル展を実施するとともに、献血推進に係る啓発資料等の配布し、街頭献血の呼びかけを実施した。	血液センター(旭川)共催 対象者数:約500名
	通年	広報	道内一円	道民	通年で報道機関や各市町村に対する広報資料の提供により献血推進の普及啓発を行った。	ラジオCM等:延べ21日間 北海道広報資料:通年
	H19.9.13	北海道社会貢献献賞の表彰	かでの2・7 大ホール	献血推進功労者	献血の推進に組織を挙げて多大な功績があった団体や学校等を表彰した。	血液センター共催 表彰者数:10団体
北海道センター	平成19年4月~8月	サタデー・テーリング	北海道赤十字血液センター	札幌市小学生4年~6年生	札幌市交通局が実施している小学生高学年を対象としている、札幌市の施設を知り、郷土の知識を高めようと企画されているスタンプラリー方式の事業に血液センターをスタンプポイント設置場所として参加し、若年層の献血啓蒙をおこなった。	期間中の来場者 2,834名
	平成19年7月	サマー献血キャンペーン	北海道センター、附属センター及び室蘭出張所	道民	全道の学生ボランティアグループが各地で自主的な企画で献血と推進・啓蒙活動を実施した。	
	平成19年12月	クリスマス献血キャンペーン	北海道センター、附属センター及び室蘭出張所	道民	全道の学生ボランティアグループが各地で自主的な企画で献血と推進・啓蒙活動を実施した。	
	平成19年8月	北海道学生献血推進協議会	北海道赤十字センター	道内学生献血推進ボランティアグループ	全道の学生ボランティアグループが北海道センターに集まり、キャンペーンの実施要綱の検討及び若年層献血の推進についての討議を行った。さらに、血漿分画センターを見学し、血漿分画製剤の知識を深めた。	参加者 20名
	平成20年1月	北海道学生献血推進協議会	北海道赤十字センター	道内学生献血推進ボランティアグループ	全道の学生ボランティアグループが北海道センターに集まり、機関紙の内容、キャンペーンの実施要綱の検討、若年層献血の推進や学内献血のあり方及びボランティア組織のあり方等を協議した。	参加者 38名
	平成19年10月~12月	第2回「いのちと献血俳句コンテスト」	道内一円	道民	若年層を中心に幅広い年代から、献血に関する俳句の公募を行い、「献血」を通して支えられる「生命」に意識を向けさせるとともに献血活動の意義理解・普及の機会を創出することを目的とする。	応募総数 3,184人 10,304句

【青森県】

青森県	H19・7～8	《全国》愛の血液助け合い運動	県内一円	県民	ラジオ・フリーペーパー・ポスター・電光掲示板にて献血思想の普及啓発を図った。	血液センター共催
	H19・8・10	献血感謝の集い	青森駅前ビルアウガ5階イベントホール	県民	「愛の血液助け合い運動」の一環として開催。大臣賞伝達・知事賞贈呈・日赤有功章伝達・輸血体験発表・ミニコンサート。県民の献血への理解を深めてもらう。	血液センター共催 参加者 約200名
	H19・8・10	学生サマー献血キャンペーン	青森駅前ビルアウガ 横	県民	青森県学生献血推進連絡会が企画・運営。主に大学生ボランティアによる献血呼びかけ・ティッシュ配り・着ぐるみ・手作りプラカード・ドリンクサービス・献血バス装飾。	血液センター共催 参加学生:23名 献血受付者:56名
	H19・9・30	八戸健康まつり	八戸市公会堂	八戸市近隣住民	公会堂内に献血・臓器・骨髄・献血のブースを設け、参加者に説明をしたり、パンフレットを配布。	八戸市主催
	H19・12・2, 9, 16	学生クリスマス献血キャンペーン	県内3箇所ショッピングセンター	県民	青森県学生献血推進連絡会が企画・運営。主に大学生・高校生ボランティアによる献血呼びかけ・ティッシュ配り・ドリンクサービス・着ぐるみとの記念撮影・手作り絵本、紙芝居・アンパンマンのエキシブ放映・ハンドベル・ドリンクサービス・くじ引き。	血液センター共催 参加学生:55名 献血受付者:229名
	H20・1～2	《全国》「はたちの献血キャンペーン」	県内一円	県民	ラジオ・フリーペーパー・ポスターにて献血思想の普及啓発を図った。	血液センター共催
	通年	400ml献血強化運動	県内一円	献血協力事業所	県献血推進協議会長名(知事)で、各協力事業所へ、400ml献血の協力を文書にてお願いした。	県内献血協力事業所:1,500箇所

【岩手県】

岩手県	7月18日	知事・日赤県支部長感謝状贈呈式	エスポワールいわて	献血推進協力団体及び個人	献血の推進に積極的に協力し、他の模範となる団体及び個人に対し、知事及び日本赤十字社岩手県支部長連名の感謝状を贈呈。	血液センター共催 15団体に対して感謝状を贈呈
岩手県	12月8日 ～12月25日	クリスマス献血キャンペーン	献血ルーム「メルシー」 他県内12ヶ所	県民各層	冬季における血液の安定確保と、「全国学生クリスマスキャンペーン2007」とのタイアップによる若年層に献血の輪を広げることを目的に実施。	血液センター共催 期間中献血実績(人) 献血受付数 3,407 献血者数 2,707 200mL 398 400mL 1,573 成分 736
岩手県	2月2日 ～2月14日	バレンタイン献血キャンペーン	献血ルーム「メルシー」 他県内7ヶ所	県民各層	冬季における血液の安定確保と、400mL献血の推進を目的に実施。 キャッチフレーズ 「献血はみんなの愛と勇気！」	血液センター共催 期間中献血実績(人) 献血受付数 2,464 献血者数 1,973 200mL 279 400mL 1,080 成分 614

【宮城県】

宮城県	H19.6.1～H19.8.31 (募集) H19.11.15(表彰式) H20.1.1～H20.2.28 (ラジオCM放送)	愛の献血70字ストーリー募集 事業	・県内の高等学校、市町村、保健所及び献血ルーム・バス等に応募用紙及びポスターを配布 ・インターネット、郵便等を利用(募集) ・「献血者に感謝する集い」で表彰 ・入賞作品によるラジオCM放送実施	若年層を中心に幅広い年代	献血思想の普及と献血意識の向上を図るため、「献血」に関するショートストーリー一社立てにした作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、入賞作品によるラジオCM広報を行う。	県内の高等学校119校に応募を呼びかけるなどし、117通の応募があった。
-----	---	----------------------	---	--------------	--	--------------------------------------

【秋田県】

秋田県	通年	ふれあい献血キャンペーン	県内60カ所程度	若年層を中心に幅広い年代	地域の各種イベント又はショッピングセンター等で、地域住民に献血思想の啓発普及を図るとともに献血を実施する。	血液センター共催
-----	----	--------------	----------	--------------	---	----------

【山形県】

山形県	H19.7.19	献血功労団体知事感謝状贈呈式	山形県庁知事室	献血功労団体	献血運動の推進に積極的に協力し、その実績が顕著で他の模範となる団体の労に報いるため、知事感謝状の贈呈を行った。併せて厚生労働大臣表彰・感謝状贈呈の伝達を行った。	知事感謝状贈呈 12団体
	H20.1.1～3.31	ヤングブラッドキャンペーン	県内一円	若年層	若者を中心とした新規の成分献血協力者の増加を図ることを目的として、県赤十字血液センターと共催により、FMコミュニティ放送によるスポットCM、生番組でのパーソナリティーによる呼びかけ及び街頭放送等を実施。	血液センター共催

【福島県】

福島県	H19.7.3～H19.9.7 (募集) H19.12.19(表彰式)	ジュニア献血ポスターコンクール	・県内の中学校等の全生徒に応募用紙を配布(募集) ・福島県赤十字血液センター(表彰式)	中学1年生～3年生	次の献血を担う中学生から、献血に関するポスターの公募を行い、献血の必要性・重要性を啓発し、近い将来の献血者の増加を図るとともに、優秀作品を活用したポスターを作成配布することにより、広く一般の方々にも献血の必要性や重要性を呼びかける。	血液センター共催 57校から293点の応募があった。また、優秀作品を用いたポスターを作成し、中学校等に配布した。
	H19.7.31～H20.3.31	ふれあい伝言板事業「ショートメッセージ募集」	・県内で実施される献血会場及び病院等	・初めて献血した高校生等 ・献血を受けた本人またはその家族	今後とも安定的に献血者を確保するためには、若年層の献血が極めて重要であることから、「献血」や「輸血」に関するショートメッセージの募集をとおして、人間尊重と相互扶助の精神を基本理念とした献血意識の普及啓発を特に若年層に対して図るとともに、広く県民への献血への理解と協力を働きかけることを目的とする。	血液センター共催 献血した方から11点、輸血を受けた方やその家族から2点の応募があった。
	H19.12.23	ふれあい伝言板事業「絵本の読み聞かせ」	クリスマス献血キャンペーン福島市会場(ツイン広場)	献血協力者及びその家族(幼・小児)等	献血に協力していただいた親子連れや呼びかけに興味をもった子供たち(幼・小児)に絵本「ぼくの血みんなの血」の読み聞かせを学生ボランティアに実施してもらい、幼・小児期における献血思想の普及・啓発を図る。	血液センター共催 献血持ちの親子、呼びかけに興味をもった親子等が参加した。

【茨城県】

茨城県	H19.11.1～H20.3.31	高校献血キャンペーン	献血ルーム、高等学校	高校生	・ポスターコンクール及びアンケートの実施	血液センター共催 高校生に献血への関心を持ってもらう
	H20.1.1～H20.2.29	はたちの献血キャンペーン	水戸献血ルーム	水戸周辺の大学生	・駅前北口へ移転した水戸献血ルームのため、ポケットティッシュの配布 ・毎週金曜日にネイルアートの実施	血液センター共催 水戸献血ルームの存在を大学生にPR

【栃木県】

栃木県	H19.6.9～H19.6.10	「県民の日」献血キャンペーン	渡瀬運動公園(藤岡町) 県民の日記念イベント「どうゆうのけんちよう？」会場内	県民	栃木県医薬品配量協会や栃木県学生献血推進連盟「かけはし」の協力を得て、県民に対し、献血の普及啓発を行うとともに、移動採血車による献血を行うことにより、「献血思想」の意識の醸成を図ることを目的とする。	血液センター共催 来場者:約1,200名 献血者数:79名
	H19.7.26	献血功労者表彰式及び記念コンサート	とちぎ福祉プラザ	県民	平成19年度愛の血液助け合い運動の関連行事として、特に献血事業に積極的に協力し、広く県民の模範となるべき功労のあった団体及び個人に対して、献血推進協議会会長の感謝状を贈呈するとともに、県民を対象とした記念コンサートを開催し、献血の一層の推進を図ることを目的とする。	来場者:約150名

【群馬県】

群馬県	H19.7.29	第22回群馬県献血推進県民大会	県庁県民ホール	県内の献血功労者等	献血功労者等の表彰を実施。また、採血車を配車し、献血の協力を仰いだ。	血液センター共催 出席者:県内各地から200名
	H20.1.12及び H20.1.14	「はたちの献血」街頭キャンペーン	JR前橋駅、JR高崎駅周辺及び太田市市内ショッピングセンター地内	若年層を中心に幅広い世代	「はたちの献血」期間中、特に成人の日前後に街頭キャンペーンを実施することにより、若年層献血者を確保することを目的とする。	血液センター共催 啓発資材6,000個を通行人に配布
群馬県赤十字血液センター	H19.9.23	ザスバ草津「献血応援スペシャルマッチ」開催	群馬県立敷島陸上競技場	若年層を中心に幅広い年代	日本プロサッカーリーグ公式戦(J2)「ザスバ草津vsベガルタ仙台」の試合を「献血応援スペシャルマッチ」と銘打って血液センター所長の「献血推進メッセージ」の発信、ハーフタイム抽選会、また、けん付けちゃんの着ぐるみによる場内観客への献血PR等実施。当日は献血車を配車し、採血も行われた。また、監督が献血に協力され、選手による献血の呼び込み(ポケットティッシュ)も行われた。ザスバ草津は今年5月に献血推進・啓蒙に必要な「献血PRポスター」の作成に協力、作成したポスターは献血団体・県内高等学校に配布する予定としている。	血液センター共催 当日の観客6,817人(地元テレビ局で取り上げられた。)

【埼玉県】

埼玉県	H19.7.24	愛の血液助け合いの集い	埼玉会館	県民、受賞者	医療に要するすべての血液製剤を献血により確保する確保する体制を確立することを目的として開催し、献血功労団体(者)の表彰等の随行事を実施して、広く県民各層に献血思想の普及と献血への理解と協力を求めるものである。	血液センター共催
	H19.2.1～H19.5.9 (募集)	献血推進ポスターコンクール		県内設置の中学生生徒	若年層における献血の普及を図るため、献血推進用のポスターの原案を募集し、優秀作品を選考する。最優秀作品においてポスターを作成、献血の普及を図るとともに、広く県民に呼びかけを行うものとする。	血液センター共催 県内の中高生から471点の応募があった。

【千葉県】

千葉県	H19.7.1	愛の血液助け合い運動	JR千葉駅東口前並びにクリスタル広場	県民	広く県民に献血への理解と協力を求めることを目的に、主催者出席による運動月間オープニングセレモニーの実施と「ポートクイーン千葉」によるうちわの配布並びに献血へ呼び掛けを実施した。	血液センター共催 イベントとして、県警音楽隊による演奏
	H19.8.1～8.31	千葉県公務員職場献血推進月間	県内各地	県民	献血協力者が減少する8月に、県内の公務員を対象に職場での献血の実施を呼びかけ、この時期に必要な血液の確保を図ることを目的とする。	血液センター共催
	H.19.8.5	学生サマーキャンペーン	ららぽーとTOKYO-BAY	県民	夏場の血液不足を補う手段の一つとし、若年層への献血の理解と協力を促す事を目的とする。献血会場にて献血への呼び掛け等を実施。	血液センター共催 約20名～25名名の学生が呼び掛けをする。
	H19.8.23	小学生献血学習会	千葉県千葉港赤十字血液センター 東京赤十字血液センター(視察先)	県内の小学校に在学する児童生徒とその保護者	若年層に対する献血啓発活動の一環として、普段献血に推することのない子供に幼少時から献血に対する興味、関心を持ってもらうことで、将来的な献血推進に資することを目的に実施。(スライドやビデオによる血液の働きや献血の意義等について説明、血液検査・製剤工程等施設見学等を実施。)	血液センター共催 大型バス2台利用した献血学習バスツアー 28組82名の親子が参加
	H.19.9.13	ライオンズクラブ国際協会333-C地区献血推進研究会	ホテルスプリングス幕張	県内ライオンズクラブ	県内ライオンズクラブを対象に、日頃の献血専任活動に対する意見交換や、事例発表などをしてもらい今後の献血専任活動に生かす。	血液センター共催
	H19.10.30	千葉県献血感謝のつどい	千葉県文化会館	献血功労者及び献血協力推進団体	県内において献血功労者及び献血協力推進団体に対して、表彰する。また、中・高校生から献血推進啓発ポスターを募集し、それぞれ知事賞1名・千葉県健康福祉部長賞2名・千葉県赤十字血液センター所長賞2名を選び、表彰した。	血液センター共催 県内の中学生135名、高校生30名から応募があった。
	H.19.12.22 H.19.12.23	学生クリスマスキャンペーン	JR千葉駅東口前並びにクリスタル広場 ららぽーとTOKYO-BAY	県民	全国統一キャンペーンを12月に行うことにより、冬場の血液不足を補う手段の一つとし、若年層への献血の理解と協力を促す事を目的とする。献血会場にて献血への呼び掛け等を実施。	血液センター共催
	H20.1.12	はたちの献血キャンペーン	フルルガーデン八千代	県民	特に献血協力者数が減少傾向となる冬期に、広く県民に対し献血への理解と協力を求めることを目的として、主催者出席によるオープニングセレモニーを実施。併せて、「千葉ロッテマリーンズ」選手とマスコットによるトークショー、サイン会、献血クイズ等のイベント並びに献血呼び掛け等を実施した。	血液センター共催 千葉ロッテマリーンズ 浅間敬太選手 末永仁志選手
	H20.2.1～2.29	千葉県献血推進強調月間	県内各地	県民	国が主唱する「はたちの献血」キャンペーンの徹底を期するために、本県独自の運動として県内各地の献血会場において啓発資材の配布を実施した。	血液センター共催
	H20.3.22	複数回献血クラブ	千葉市文化交流プラザ	県民	県民及び、献血協力者にお集まり頂き、「献血をする上での健康づくり」講演「糖尿病予防と健康体操」	血液センター共催

【東京都】

東京都	H19.10.1～H20.3.31	携帯メールクラブキャンペーン	東京都内各献血ルーム	ルーム来所献血者	携帯メールクラブ会員募集と、メールでの成分献血予約を推進するためにキャンペーンを実施。期間中、メールで成分献血予約した会員と、400mL献血のメール依頼に協力された会員に記念品を運送する。	血液センター共催 通常月平均1,000名 キャンペーン期間月平均1,500名
	H19.11.4(日) 17(土) H20.3.15(土)	医学講演・赤十字救急法(AED)短期講習会 “サンクスター-AED”	武蔵野赤十字病院 1回 東京都赤十字血液センター 2回	携帯メールクラブ会員	日頃の献血への協力に対するお礼として、携帯メールクラブの会員を対象とする医学講演と赤十字救急法講習会を開催し献血の重要性とAEDの使用法を含めた心臓蘇生法について理解・習得いただく。	血液センター共催 受講定員280名に対して1,100名以上の受講申込があった。
	カード配付期間 H19.9.1～H19.11.18 キャンペーン期間 ①H19.11.19～ H19.12.17 ②H20.1.2～ H20.1.31 ③H20.3.10～ H20.4.14	冬季献血ほっとキャンペーン	東京都内各献血ルーム	ルーム来所献血者	期間中に事前に配布したカードを持参の上献血に協力してくれた方に記念品を運送することで、血液が不足する冬季(11月～4月上旬)の献血者確保を目的とする。	血液センター共催
	H20.2.1～H20.2.29 (配布)	携帯メールクラブ会員募集キャンペーン (もやっとスティック)	東京都内各献血ルーム	ルーム来所献血者	携帯メールクラブのPRと会員募集を目的としてキャンペーンを実施。期間中、献血された方に簡単なバスル「もやっとスティック」を配布。「もやっとスティック」を解答し、携帯メールクラブに会員登録された方は、次回献血時に記念品を運送する。	血液センター共催 新規登録者数＝通常月平均600名 配布後の2月は1,721名
	H19.4.24日～ H20.4.月末	400mL献血リピートキャンペーン	移動・出張採血現場・都内献血ルーム	400mL献血協力者	移動採血現場で400mL献血協力者にキャンペーンカードを配布し、次回そのカードを持参の上再度400mL献血に協力してくれた方に記念品をプレゼントする。年2回以上の複数回献血者の増加を目的とする。	血液センター共催
	H20.2.1日～3月31日	チャレンジ成分キャンペーン	東京都内献血ルーム (全血ルームを除く)	ルーム来所献血者	都内献血ルームで全血献血協力者にキャンペーンカードを配布し、次回そのカードを持参の上成分献血に協力してくれた方に記念品をプレゼントする。全血献血協力者に成分献血の協力も呼びかけることで、一人当たりの献血回数増加を目的とする。	血液センター共催
	H20.2.1日～3月31日	成分1・2・3献血キャンペーン	東京都内献血ルーム (全血ルームを除く)	ルーム来所献血者	都内献血ルームでキャンペーンカードを配布し、成分献血協力ごとに1回スタンプを押印し、3回押印された方に記念品をプレゼントする。定期的に成分献血にご協力をいただくことを目的とする。	血液センター共催
H19.8.7～H19.8.8	献血おもしろゼミナール	東京都赤十字血液センター (日本赤十字社辰巳ビル)	小学3年生以上の児童及び保護者	若年層への献血啓発事業として実施。小学生を対象にスライド学習及びパネルクイズ、検査・製材・供給部門の所内見学等を実施し、将来の献血者育成及び献血思想の普及につなげることを目的とする。	血液センター共催 二日間計4回の開催で、合計56名が参加。好評により、その後も学校単位等で受入れを実施。20年度以降も継続して実施予定。	

【神奈川県】

神奈川県	12月1日	神奈川県献血推進功労者表彰式	横浜市教育会館	献血推進功労者及び献血の絵ポスター展入賞者	献血の推進に功績のある団体及び個人に対して表彰を行う。	血液センター共催
	10～2月	献血の絵ポスター展	横浜マリタイムミュージアム他県内赤十字病院	県内在住・在学の小中学生	献血可能年齢に達しない小中学生が献血に関心を寄せる契機となるよう、献血に関する絵画を募集する。	血液センター共催
	8月6日～10日 12月26日	献血ボランティアスクール	県内3箇所 の採血会場及びその周辺	県内在学の高校生	献血に関する産学や献血ルーム・バスの見学、採血現場での呼び掛けや遭遇などのボランティア体験を通じて、高校生が献血についてより深く理解することにより、自発的なボランティア活動の契機とすることを目的とする。	血液センター共催 参加者から、将来、献血や献血に関するボランティア活動について積極的に参加したいという感想が得られた。また、参加者を対象に12月により深い内容でスクールを開催した。
神奈川県内赤十字血液センター	10月17日	ボラフェスタ IN KANAGAWA	日本丸メモリアルパーク	県内ボランティア団体	ボランティア団体同士の交流を通じて、その輪を広げるとともに、ボランティア意識の情勢を図ることを目的とする。また、献血をボランティアとしての認識を広めることで、献血意識向上への波及を期待するもの。	血液センター共催 イベント内で実施するラジオの公開生放送に県知事が出演し、献血の現状や重要性などをリスナーに訴えた。

【新潟県】

新潟県	平成20年3月8日	新潟県輸血フォーラム	新潟大学医学総合病院	輸血医療関係者	輸血療法を適正に行う上での諸問題等についての理解を深め、もって血液製剤の使用のより一層の適正化を図る。 (内容) 合同輸血療法委員会、研究発表、講演会	血液センター共催 適正使用への理解と協力をお願いした。
	通年	献血普及講演会	高等学校	高校生	将来の献血を支える若年層へ献血知識の普及啓発を図る。	血液センター共催 7校で実施。講演会後、献血呼びかけ活動に参加した高校生もいるなど、普及啓発が図られた。
	平成19年9月7日	献血功労者表彰式	新潟県自治会館	献血運動推進団体	長年にわたり献血に協力いただいている団体等を表彰した。	血液センター共催 今後も継続的な協力が期待できる。

【富山県】

	H19.5.11、5.24	教育現場への働きかけ	県教育記念誌ほか	県内全高校長、県内学校(小・中・高)の保健主事	献血事業の啓発普及について協力を働きかけた	
	H19.7・8、H20.1・2	ショッピングセンターでの懸垂幕掲示 〈新規〉	富山駅前のショッピングセンター	一般県民	富山駅前の商業施設を活用し、献血啓発用の懸垂幕を掲示し、献血思想の普及を行った。	
	H19.7・22	サマー献血キャンペーン	ショッピングセンター	一般県民	夏場の血液不足解消のため、学生ボランティア主催によるキャンペーンを実施。	血液センター共催
	H19.7～10、H20.1・2	献血啓発CMの上映	TV、シネマコンプレックスで映画の本編前にCMを上映するもの	一般県民	献血推進CMを作成し、TVや映画館で上映することにより献血の普及啓発を行った。	
	H19.7.20～9.2(募集期間) H19.10.20(表彰式)	献血推進用ポスター募集・表彰	県内小・中学生を対象に献血推進ポスターを募集し、優秀作品を表彰するもの 表彰式、富山電気ビル	県内小・中学生	未来の献血を担う児童生徒に対し献血への理解を深めた。	血液センター共催
	H19.6～H20.3	保健師による健康相談〈新規〉	献血協力企業など(献血車:県内5地区)	献血申込者のうち、比重不足などで献血できなかった方	比重不足による献血できなかった者に対し、保健師による健康相談を実施し、健康な献血者の確保に努める	血液センター共催
	H19.7	コンビニとの連携〈新規〉	県内の某コンビニエンスストアー105店舗に掲示	一般県民	賞の献血たすけあいポスターを県内の某コンビニエンスストアー105店舗に掲示	血液センター共催
	H19.12・9	全国学生クリスマス献血キャンペーン	ショッピングセンター	一般県民	年末年始の血液確保のため、学生ボランティア主催によるキャンペーンを実施	血液センター共催
	H20.1.4、1.10、1.11	はたちの献血キャンペーン	県名各地ショッピングセンター、駅など	献血啓発資料等の配布	冬期における血液不足の解消のため、街頭キャンペーンを実施し、広く県民に理解と協力を求めた	血液センター共催
	H20.1.12(土)放映	献血推進広報「献血に行こう」番組制作 〈新規〉	地元テレビ局(県の広報番組「こんにちは富山県です」)9:30～9:45	一般県民(特に新成人)	献血者の減少、若者の献血離れなどが深刻なため輸血用血液の不足、献血による血液がどのように活用されているかをレポートし、献血に対する関心を高めることが目的である	
	H20.1・14	「はたちの献血キャンペーン」イベント	ショッピングセンター	一般県民	ラジオ公開放送による献血啓発活動及びLOVEメール会員募集イベントを実施。	血液センター共催
	H20.1.26～2.4 H20.2.8～2.18	献血ポスター優秀作品の展示	県内ショッピングセンター	一般県民	小中学生献血推進ポスターコンクールの優秀作品展示を行い、献血思想の普及を図る	

富山県

【石川県】

石川県	H19.7.1～H19.10.31 (募集) H19.12.18(表彰式) H19.12.12～H20.1.9 (展示会)	献血ポスターコンクール入賞者表彰式	県庁特別会議室	県内中学生	県内中学生を対象に、献血に関するポスターの公募を行い、献血できる可能年齢に達した際にも、献血に対する抵抗が少なくなることを期待する。	血液センター共催 24校から、233点の応募があった。
	H19.7.1～H19.8.31	バス車内広告	県内全域路線バス	県民	全国的に実施している7月の愛の献血助け合い運動に併せて、県民への普及啓発を目的とする	
	H19.9.29 H19.10.20 H19.10.28	大学学園祭会場での献血キャンペーンの実施	金沢医科大学 金沢学院大学 県立看護大学	大学祭参加者	若年層に対する普及啓発と、異動採決者を設置し、献血の体験を実施する。	血液センター共催
	各市町成人式	新成人対象啓発	成人式会場	県内全新人	各市町における成人式出席者に啓発資料等を配布	

【福井県】

福井県	H19.7.1	愛の血液助け合い運動街頭キャンペーン	県内ショッピングセンター	県民	・献血と併せ啓発資料の配布による献血思想の普及啓発。	血液センター共催
	H19.7.4	第43回献血運動推進全国大会	サンドーム福井	全国の献血運動推進に携わる関係者約2,400名	・皇太子殿下の御臨席を仰ぎ、第1部の献血功労者への表彰式、体験発表等に加え、第2部のアトラクションとして越前万歳、合囃、吹奏楽などを行った。	血液センター共催
	H19.7.29/8.5	中部ブロック統一学生サマー献血キャンペーン2007	県内ショッピングセンター	県民	・福井県学生献血推進連盟による街頭キャンペーンを実施し、特に若年層に対する献血思想の普及啓発。	血液センター主催
	H19.12.22/12.23	全国統一学生クリスマス献血キャンペーン2007	県内ショッピングセンター	県民	・福井県学生献血推進連盟による街頭キャンペーンを実施し、特に若年層に対する献血思想の普及啓発。	血液センター主催
	H19.12.23～ H20.5.30	冬から春まで献血キャンペーン	血液センター	県民	・慢性的に血液が不足する冬季、春先にキャンペーンを展開し、母体での血小板成分献血者を安定的に確保する。	血液センター主催
	H20.1.26/1.27/1.29 /2.1/2.2/2.3	臨時採血所の設置	県内ショッピングセンター	県民	・若年層を含め安定した集客力のある大型ショッピングセンターに臨時採血所を開設し、冬季における血液の安定供給を図る。	血液センター共催 6日間で817人の方に献血いただいた。
	H20.1.26	「はたちの献血」街頭キャンペーン	県内ショッピングセンター	県民	・献血と併せ啓発資料の配布による献血思想の普及啓発。	血液センター共催

【山梨県】

山梨県	H19.7.14	愛の血液助け合い運動街頭キャンペーン	甲府駅前等3箇所	県民	愛の血液助け合い運動の期間に合わせて街頭キャンペーンを実施。ポケットティッシュ等配布。献血啓発CM放映。テレビ等によるPR。	血液センター共催
	H19.9.5	第25回献血運動推進大会	ベルクラシック甲府	県民	献血功績者表彰(厚生労働大臣表彰・感謝状、県表彰、日赤表彰)。講演。参加者は一般県民、献血功績者、市町村職員、関係団体等。	血液センター共催
	H20.1.13	はたちの献血キャンペーン、街頭キャンペーン	甲府駅前等3箇所	新成人を中心とした若年層	はたちの献血キャンペーンの期間に合わせて街頭キャンペーンを実施。絆創膏等配布。甲府駅ビルに懸垂幕掲示。テレビ等によるPR。	血液センター共催
	H19.7~H20.3	献血地域キャンペーン	各保健所管内(5箇所)	県民	各保健所管内において献血モデル市町村を選定し献血啓発活動を実施。	血液センター共催

【長野県】

長野県	H19.10.26~10.28 H20.1.12~1.14 H20.2.15~2.17	献血ルーム体験運動	駒ヶ根市、佐久市、飯田市の市内大型店	県民	血液センターのない地域の大型店に臨時の献血ルームを設置し、献血の啓発を行うとともに献血への参加を募る。	献血者数:193人 268人 189人
	H19.7.16、H19.7.21 H19.12.1、H19.12.2	学生ボランティアキャンペーン	長野市、飯田市の大型店前	若年層を中心に幅広い年代	献血者が減少する夏期・冬期に大型店前に移動採血車を配車し、学生ボランティアの協力でサマーキャンペーン・クリスマスキャンペーンを実施し、献血者を確保する。	血液センター主催 献血者数:162人 124人
	H19.5.3、H19.10.6、 H19.12.8 H19.5.26、H19.9.22、 H20.1.26 H19.8.18、H19.10.6、 H20.1.5 H19.5.5、H20.1.4、 H20.3.16	定例献血スポットキャンペーン	長野市、上田市、岡谷市、山形村の大型店前	県民	血液センター、献血ルーム以外に定期的な献血が行える場所を設定するため、長野市、上田市、岡谷市、山形村の大型店に定期的に移動採血車を配車し、定例スポットとして定着させることで献血者を確保する。	血液センター共催 献血者数:727人
	H19.10~H20.3	“けんけつ”啓発ラジオマンシリーズ放送	全県	県民	献血者が減少する寒い季節に、通勤者や若い世代のラジオの視聴率が高い時間帯の番組内で、平日の毎日、同じ時間に、献血を呼びかける放送をすることで、番組の視聴者に“献血”という言葉を目にする機会を増やし、献血協力者の層上げを図る。	放送回数:130回
	H19.7 H20.1	ラジオスポット放送	全県	県民	県内民放ラジオ2局で献血スポット広告を放送し、献血者を確保する。	放送回数:24回

【岐阜県】

岐阜県	H19.10.24	献血感謝の集い	未来会館 長良川ホール	一般、関係者	・献血推進功労者表彰 ・高校生献血推進提案入賞者表彰	血液センター共催 400名が参加した。
	H19.6.18~H19.8.31	「高校生の献血推進提案」募集	表彰は、献血感謝の集いで実施	高校生(県内)	若者が献血の理解を深め、献血への協力を促す提案を募集した。大賞1、入選2、佳作5を選定。	37点の応募があった。

【静岡県】

静岡県	H19.7.27	平成19年度静岡県献血推進大会	静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」	県民	「愛の血液助け合い運動」の一環として開催する。大会では、献血功労者に対して知事褒賞等の贈呈を行うとともに、「薬の不思議」と題して特別講演を行った。	血液センター共催 参加者 約380人
-----	----------	-----------------	---------------------------	----	---	-----------------------

【愛知県】

愛知県	H19.7.1～H20.3.31	複数回献血キャンペーン	全献血会場	県民	キャンペーン期間中に県内の全献血ルーム、血液センター及び献血会場において400mL献血をして、「けんけつちゃんお約束カード」をもらった方がもう一度400mL献血をすると先着10,000名に「ハローキティオリジナルシャープペン」を贈呈した。	血液センター共催 400mL複数回献血者数の確保
	H.19.12.22	学生クリスマス献血キャンペーン2007	栄広場(名古屋市中区錦)	若年層を中心に幅広い年代	愛知県学生献血連盟所属の学生ボランティアと協力して、学生有志やタレントによるステージライブを実施し、若年層への献血協力を呼びかけた。	血液センター共催 若年層への献血協力の呼びかけ
	H19.8.15、16、21	血液おもしろセミナー～夏休み親子教室～	愛知県赤十字血液センター(瀬戸市)(8月15・16日) 愛知県豊橋赤十字血液センター(豊橋市)(8月21日)	小学生とその保護者	児童期からの献血教育の推進を目的として、小学生とその保護者を対象とした親子献血教室を開催した。	血液センター共催 児童期からの献血教育の推進

【三重県】

三重県	H19.8.8	献血功労者表彰式	津都ホテル(津市)	厚生労働大臣表彰状・感謝状贈呈者、知事感謝状、日赤感謝状、同支部感謝状、三重県赤十字血液センター感謝状等受賞対象者	平成19年度の表彰を県、日赤三重県支部、血液センターと合同で実施。	血液センター共催 報道機関に情報提供した。
-----	---------	----------	-----------	---	-----------------------------------	--------------------------

【滋賀県】

滋賀県	平成18年7月20日	平成19年度滋賀県愛の献血感謝のつどい	栗東芸術文化会館さくら	受賞者・日赤奉仕団等献血啓発協力者	献血功労者に対する表彰状等伝達・贈呈式およびESPERERANZA/えすべらんごによる記念講演	血液センター共催
	平成19年8月5日	「サマー献血」	東近江保健所八幡支所	若年層・周辺住民	学生献血ボランティアによる献血啓発活動	血液センター共催 78人の献血者
	平成19年9月9日	湖北長浜1000人献血運動	長浜勤労者総合福祉センター臨湖	周辺住民		血液センター共催 178人の献血者
	平成19年12月23日	「クリスマス献血キャンペーン」	JR近江八幡駅北口南口	若年層・周辺住民	学生献血ボランティアによる献血啓発活動	血液センター共催 177人の献血者
	平成19年12月24日	「クリスマス献血キャンペーン」	西武大津ショッピングセンター	若年層・周辺住民	学生献血ボランティアによる献血啓発活動	血液センター共催 75人の献血者
	平成20年1月	「はたちの献血」キャンペーン	県内各地	成人式を迎えた者	市町を通じ、献血啓発資材の配布	

【京都府】

京都府	7月	愛の血液助け合い運動	府内一円	府民	血液製剤の国内自給を目指し、啓発を実施	血液センター主催
	7月8日	夏の学生献血キャンペーン	京都駅前	府民	学生献血推進協議会が主催し、献血の呼びかけを実施	血液センター主催 献血人数:176人
	10月18日	献血推進協力団体等表彰式	京都府公館	献血推進協力者等被表彰者	献血推進協力団体・個人の表彰	団体表彰:12団体、個人表彰:3人
	12月9日	クリスマスキャンペーン	京都駅前	府民	学生献血推進協議会が主催し、クリスマスにちなんだ衣装等により、献血の呼びかけ等啓発を実施	血液センター主催 献血人数:208人
	2月9日	はたちの献血キャンペーン	府内一円、京都駅前	府民	新成人を中心に献血の啓発を実施、又学生献血推進協議会主催による、献血の呼びかけの実施	血液センター主催 献血人数:101人

【大阪府】

大阪府	H19.7.1～H19.9.30 (募集) H19.12.4(特賞発表)	熱血献血キャンペーン 複数回 献血推進のためのチャットコ ピー(標語)大募集	府内の高等学校及び市町村献血推 進協議会等に応募を依頼。インター ネット、郵便等を利用(募集) ・森ノ宮ピロティホール(特賞をラジオ CM化して発表)	若年層を中心に幅広い年代	若年層を中心に幅広い年代から、特に今回の募集は、複数回献血の必要性を 認識いただくとともに若者が献血に関心を持てるような内容の標語を募集した。	血液センター共催 夏休みの課題のような形で学校のクラス単位での応 募もあり、3ヶ月という短期間中に府内外から2880件 の応募があった。
大阪府及び日 本赤十字社大 阪府支部	H19.12.4	大阪府献血感謝のつどい	森ノ宮ピロティホール	献血功労者及び一般府民	献血功労者表彰及び講演会の二部形式で実施。あわせて、募集事業の特賞作 品をラジオCM化したものを発表。	血液センター共催